



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手島 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 乙葉 敏夫 TEL 03-3272-5614  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	75,397	△5.1	△901	—	△184	—	△1,398	—
24年3月期第3四半期	79,466	2.9	772	△89.4	26	△99.6	△463	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △2,163百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 971百万円 (△84.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△10.30	—
24年3月期第3四半期	△3.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	145,758	57,767	39.6	425.39
24年3月期	149,803	60,882	40.6	448.32

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 57,767百万円 24年3月期 60,882百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00 ～5.00	4.00 ～5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△0.9	200	△92.9	△500	—	△1,500	—	△11.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	135,855,217株	24年3月期	135,855,217株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	55,951株	24年3月期	55,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	135,799,093株	24年3月期3Q	135,799,679株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 連結売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速による外需の落ち込みにエコカー補助金の終了が重なり厳しい景況感のもと、停滞が続きました。しかしながら、足元では円安・株価回復傾向により、景気の先行きに対し若干の明るい兆しも見えてきております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、政府・日銀の物価上昇率・為替水準に対する姿勢に市場が反応して、円が主要通貨に対して大きく切り下げられる結果となり、業況に対しては追い風基調となっております。

LME（ロンドン金属取引所）相場等の金属価格は、海外経済の減速もあり前年同期の水準には戻っていないものの、一昨年後半から続いた低迷を脱し、年度初めの水準に回復するまで上昇しております。

前年同期におきましては、東日本大震災の影響で亜鉛系2工場が操業停止となったため、亜鉛製品や酸化亜鉛の減産を強いられました。当第3四半期連結累計期間におきましては通常操業に戻っております。しかしながら、金属価格が前年同期比で低位に推移したこと等から、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が753億97百万円と前年同期比40億69百万円（5%）の減収となりました。

損益面では、当社の亜鉛系2工場（安中製錬所及び小名浜製錬所）を昨年7月から9月初旬まで電力料金の値上げの影響を軽減するため操業休止したことに伴う固定費負担が発生したものの、第2四半期から第3四半期にかけての市況改善はプラスに働きました。しかしながら、連結子会社の豪州の鉱山会社CBH Resources Ltd.（以下「CBH社」という。）が新鉱山の本格操業開始後、立ち上がりで経費が先行したこと等の要因により、最終的には営業損益は9億1百万円の損失（前年同期は7億72百万円の利益）となりました。経常損益は、営業損益段階に比べると、CBH社に対する豪ドル建て貸付金の円安に伴う為替換算益により、1億84百万円の損失（前年同期は26百万円の利益）まで戻したものの、四半期純損益は、法人税等の計上もあり13億98百万円の損失（前年同期は4億63百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 製錬事業部門

当第3四半期連結累計期間におきましては、震災の操業への影響は解消し、亜鉛製品の販売も回復基調となったものの、金属相場の低迷により売上高は519億39百万円と前年同期比54億64百万円（10%）の減収となりました。営業損益は、前年同期は市況が第2四半期から第3四半期にかけて急落したことにより低価格評価損失が発生した一方で、当期はLME相場が回復傾向にあり、また、期末にかけて為替相場が急速な円安傾向となったため低価格評価損失が減少したことにより、1億45百万円の損失（前年同期は8億60百万円の損失）にとどまり、前年同期比では7億14百万円の損失の減少となりました。

#### ② 資源事業部門

CBH社を擁する当事業部門の売上高は、昨年7月に開所したラスブ鉱山の本格操業があり、76億85百万円と前年同期比26億32百万円（52%）の増収となりました。一方、前年同期比でLME相場が低迷したことや、ラスブ鉱山の立ち上がりで換気システム工事が遅れ、高品位部分の採掘が進まず経費が先行していること等によりCBH社の採算が悪化しました。さらに鉱業権・のれん等の償却負担も加わった結果、営業損益は24億94百万円の損失と前年同期比24億88百万円の大幅な損失の増加となりました。

#### ③ 電子部材事業部門

電子部品、電解鉄、プレーティングとも国内外の需要が伸び悩み、売上高は49億40百万円と前年同期比5億17百万円（9%）の減収、営業利益は6億11百万円と前年同期比51百万円（8%）の減益となりました。

#### ④ 環境・リサイクル事業部門

震災により前期に減産を余儀なくされた酸化亜鉛をはじめ、その他のリサイクル事業の操業が順調に回復したため、当事業部門の売上高は31億99百万円と前年同期比11億98百万円（60%）の増収、営業利益は3億58百万円と前年同期比1億93百万円（117%）の増益となりました。

#### ⑤ その他事業部門

防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業及び運輸事業等で構成される当事業部門の売上高は、大型プラント案件の減少等により76億32百万円と前年同期比19億17百万円（20%）の減収、営業利益は7億55百万円と前年同期比3億7百万円（29%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ40億45百万円減少し、1,457億58百万円となりました。これは現金及び預金やたな卸資産などが減少していることによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ9億31百万円減少し、879億90百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ31億14百万円減少し、577億67百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は39.6%となり、当第3四半期連結会計期間末において、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント下降しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、非鉄金属価格・為替相場の動向等の先行きが不透明であり、予断を許さない状況にあります。

以上の状況を勘案して、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、前回公表(平成24年11月9日)の予想を据え置くことといたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,550	11,695
受取手形及び売掛金	15,997	16,037
たな卸資産	31,534	29,334
その他	3,423	2,783
貸倒引当金	△12	△10
流動資産合計	67,492	59,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,504	9,880
機械装置及び運搬具(純額)	24,183	25,457
土地	16,946	16,946
その他(純額)	1,225	1,048
有形固定資産合計	51,860	53,332
無形固定資産		
のれん	501	504
鉱業権	23,238	26,297
その他	75	61
無形固定資産合計	23,815	26,864
投資その他の資産		
投資有価証券	4,634	3,743
その他	2,783	2,733
貸倒引当金	△782	△755
投資その他の資産合計	6,634	5,720
固定資産合計	82,310	85,917
資産合計	149,803	145,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,589	7,606
短期借入金	22,478	22,478
1年内返済予定の長期借入金	3,317	2,901
コマーシャル・ペーパー	2,000	4,000
未払法人税等	240	643
引当金	220	256
その他	8,141	7,295
流動負債合計	43,987	45,181
固定負債		
長期借入金	33,307	31,558
退職給付引当金	2,444	2,250
その他の引当金	439	450
資産除去債務	1,144	1,243
再評価に係る繰延税金負債	5,061	5,061
その他	2,536	2,245
固定負債合計	44,934	42,808
負債合計	88,921	87,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	27,803	25,454
自己株式	△23	△23
株主資本合計	52,287	49,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680	362
繰延ヘッジ損益	△237	△60
土地再評価差額金	8,290	8,290
為替換算調整勘定	△139	△763
その他の包括利益累計額合計	8,594	7,829
純資産合計	60,882	57,767
負債純資産合計	149,803	145,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	79,466	75,397
売上原価	72,942	69,822
売上総利益	6,523	5,574
販売費及び一般管理費	5,750	6,476
営業利益又は営業損失(△)	772	△901
営業外収益		
受取利息	106	22
受取配当金	82	63
為替差益	—	768
デリバティブ評価益	139	—
その他	182	325
営業外収益合計	511	1,180
営業外費用		
支払利息	346	383
為替差損	803	—
その他	107	80
営業外費用合計	1,257	463
経常利益又は経常損失(△)	26	△184
特別利益		
固定資産売却益	2	9
鉱業権売却益	1,035	—
その他	152	—
特別利益合計	1,190	9
特別損失		
固定資産除却損	196	230
投資有価証券評価損	4	85
災害による損失	763	—
その他	8	3
特別損失合計	972	319
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	244	△495
法人税、住民税及び事業税	332	849
法人税等調整額	375	53
法人税等合計	707	903
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△463	△1,398
四半期純損失(△)	△463	△1,398



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△463	△1,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406	△317
繰延ヘッジ損益	3,375	176
土地再評価差額金	718	—
為替換算調整勘定	△2,252	△624
その他の包括利益合計	1,434	△765
四半期包括利益	971	△2,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	971	△2,163
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	57,404	5,052	5,457	2,001	69,916	9,550	79,466	—	79,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,220	2,483	87	1	4,792	4,230	9,023	△9,023	—
計	59,624	7,536	5,545	2,002	74,709	13,781	88,490	△9,023	79,466
セグメント利益又は損 失(△)	△860	△5	663	164	△37	1,063	1,025	△252	772

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△252百万円には、セグメント間取引消去△167百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△85百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	51,939	7,685	4,940	3,199	67,764	7,632	75,397	—	75,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,981	2,933	87	1	5,003	3,517	8,521	△8,521	—
計	53,920	10,619	5,027	3,200	72,768	11,150	83,918	△8,521	75,397
セグメント利益又は損 失(△)	△145	△2,494	611	358	△1,669	755	△914	13	△901

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額13百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後

に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の各報告セグメントごとのセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

#### 4. 補足情報

##### (1) 連結売上高

品名	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)			前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)		
	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)
亜鉛製品	74,793 t	14,669	18.5	82,753 t	15,017	19.9	100,572 t	19,524	18.4
鉛製品	71,363 t	15,496	19.5	67,974 t	13,489	17.9	91,994 t	19,595	18.5
電気銀	251,963Kg	23,053	29.0	261,412Kg	20,781	27.6	342,733Kg	30,651	28.9
硫酸	173,625 t	1,036	1.3	171,357 t	1,244	1.7	239,056 t	1,468	1.4
電子部品		2,308	2.9		2,080	2.8		2,974	2.8
電子材料等		3,248	4.1		2,956	3.9		4,228	4.0
酸化亜鉛		970	1.2		1,586	2.1		1,494	1.4
廃棄物処理		1,033	1.3		1,616	2.1		1,500	1.4
防音建材		1,541	1.9		1,455	1.9		2,016	1.9
完成工事高		3,120	3.9		1,476	2.0		4,701	4.4
その他		12,988	16.3		13,692	18.2		17,759	16.8
合計		79,466	100.0		75,397	100.0		105,914	100.0